

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082



新年ごあいさつ

花巻市長 上田 東一



ふるさとから謹んで新春のお慶びを申し上げます。

在京花巻人会の皆様には、日頃より格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、岩手県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、市民の生活や市内の経済は大きな影響を受けました。その中であつて、本市では市民の命と生活を守る観点からの支援のほか、事業者の事業の継続を図るとの観点から、温泉宿泊客へ市独自の助成を実施し、温

泉宿泊業者への支援を行ったほか、「PAYPAYを活用したポイントキャンペーン」による地場店舗への事業継続支援を実施し、多くの皆様にご利用をいただきました。外食利用者の減少による米需要減少の結果として生じた米価下落対策としてコメ生産者に対する検査手数料等への補助や生産資材等購入への補助などの支援も行っております。

一方、令和3年における明るい話題として、花巻東高等学校出身の菊池雄星選手と大谷翔平選手がMLBオールスターゲームに揃って選出され、その際に2人のサインと「花巻から世界へ」と母校のユニホームに記し撮影した写真は大きな話題となりました。また、花巻東高等学校は、昨年10月に宮城県で開催された秋季東北地区高等学校野球大会において、同高として初優勝、岩手県勢として38年ぶりとなる優勝を果たし、県勢として初めて明治神宮野球大会へ出場いたしました。こうした活躍は、コロナ禍の中にあつて市民の心を明るくしてくれるものでした。花巻東高等学校は、本年3月に予定されている選抜高等学校野球大会に出場することがほぼ確実となっております。皆様からも暖かいご声援をお願いいたします。

結びになりましたが、在京花巻人会の皆様には、折にふれて花巻市の情報発信をするなど花巻市の支援に努めていただいております。改めて感謝を申し上げます。今後ともご支援をお願い申し上げますとともに、在京花巻人会のますますの発展と会員の皆様にとつて健やかで幸多き年でありませうとお祈り申し上げます。



年頭所感

在京花巻人会

会長 瀬川 紘一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。新しい年が皆様にとりまして良い年になりますよう心よりお祈り致します。又、昨年中に頂いた在京花巻人会へのご厚誼に対し厚く御礼を申し上げますと共に、今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、新しい年が一体どういう年になるのか、余生も残り少なくなつたせいでしょか、今年をどう位置付けるべきか考えさせられます。

昨年10月の衆議院選挙では自民党が絶対安定多数を獲得しました。確かに岸田首相には民主主義を擁護し、資本主義の不平等を正そうとする姿勢が見えます。それにしても、日本が急激な人口減と低成長で危機的状態にあることは間違いなく、国民の多数が現状維持を望んだことには驚きます。しかも若い有権者の多くも自民党に投票したとのこと、ある調査では日本の将来が良くなると思えた18才の若者はわずかに9.6%、将来に対する諦めと豊かな生活を維持したい刹那主義のはざままで揺れ動く若者に痛々しさすら感じます。

ただ、日本は戦前とは違う形ではありますが、戦後も国主導で復興とその後の経済成長を成し遂げてきました。自己弁護になるかもしれませんが、今だに日本が目指すべき方向を見出せないのは、国頼みに馴らされた私達国民が自立的に社会に関わることを怠つて来たからではないか。この自立性の欠如が、スベインの哲学者オルテガが警告した「国にすべてを委ねる状況」を現出させているように思います。

残り少ない人生ですが、今年も日本の将来を担つと信ずる地方に寄り添いながら、しっかりと歴史に向き合つていきたいと思ひます。

令和4年度

「第36回在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時：令和4年7月9日(土) 11時~14時
会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅 聖橋口

『在京花巻人のつどい』に参加して



花巻地域振興部長 菅野 圭

花巻人会の皆様が待ちに待った「第35回在京花巻人のつどい」が無事開催できましたことを心よりお喜び申し上げます。コロナ禍の中、開催に向け大変なご苦労をされたと察します。瀨川会長はじめ役員・関係者の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。

で、この場をお借りしてお礼を申し上げます。懇親会では、なぜか大迫、石鳥谷、東和出身の方と多くの話しをさせていただきました。お陰様で楽しい時間を過ごすことができました。また、座席表の中に母校南城中卒の方を見つけた声をかけさせていただきました。私が生まれる前のご卒業ということもあり、地元の話をして微妙に噛み合わずお互い苦笑いといった場面もありましたが、大先輩の貴重なお話を聞かすことができました。当口ご挨拶できなかった皆様には失礼をいたしました。

今回は、徹底した感染対策をとっていただいたの開催となりました。第6波や新変異株の話も聞こえてきますが、何とか来年は参加者全員で「精神歌」を高らかに歌える状況になっていて欲しいものです。会員の皆様にはどうか健康にご留意され、引き続きふるさと花巻をどうぞよろしくお願いたします。



内村 正明

(大迫中二十一年卒)

好天に恵まれ、懸念された「コロナ禍絡み」の対策も役員の方々と会場密な打ち合わせ・万全の体制のもと、2年振りの開催となりました。ふる里花巻市からは、上田東一市長始め多数の方々が上京、会員の出席も含め百人を超える盛況でした。中でも、全員「マスク着用」のスタート。予め三密回避の説明があり、どの様な集いになるか？期待と不安が交差する親睦会となりましたが、「案ずるに及ばず」の結果で素敵でスムーズな「集い・宴」への出席でした。冒頭、瀨川絏一会長より、令和3年度の議事進行、終了宣言の後、宴がスタート！

来賓挨拶で、上田市長から市政の紹介で、コロナ禍、感染対策として、花巻システムを構築、ワクチン接種状況や温泉等観光事業に官民を挙げて取り組んでいる様子等の近況報告があり、会場納得。更に、あの大谷翔平、のNEWSです！（何と）いう事でしようか・・・）全米のベースボールに限らず日本を含む、スポーツファンの心を「驚つかみ」した姿の数々、菊池雄星と共に、岩手・花巻市の名を高々と掲げてくれました！又、この今年の流行語大賞に彼の「リアル2刀流/シヨータム」が断トツで選出。来年、更なる期待が膨らみます。



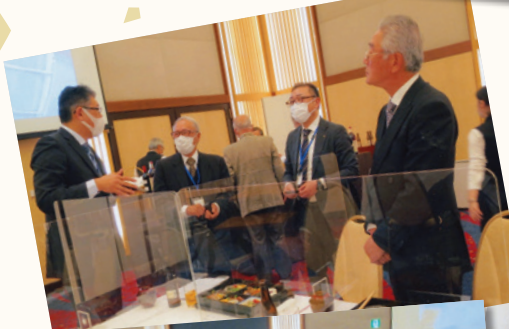
岡田 修

(花中三十四年卒)

「第三十五回在京花巻人会のつどい」が令和三年十一月二十八日(日)、東京ガーデンパレスに於いて開催されました。最初に瀨川絏一会長から、コロナ禍の中で開催した経緯について、①2年以上のブランクがあったこと、②花巻の上田市長始め来賓の方々から参加希望があったこと、③さらに会員の皆さんから参加希望があったこと、との説明があり、更に他の地区の「集い」の行事が中止され、100人以上参加のホテルでの開催はないことなどから非常に迷った末開催を決定しました、との挨拶がありました。

次に、木戸口英司参議院議員は岩手県で平泉に続いて北東北縄文遺跡群が世界遺産として登録されたことをうれしく思う等と述べられていました。懇親会では飲み物はすべて手酌でほどよく酔い、食事もお弁当箱でボリュウムもあり満足でした。最後にアトラクシヨンの「相撲甚句」を聞き、恒例の「精神歌」は及川慎さんとも有志が壇上で歌って終了となりました。参加した会員の皆さん、開催にこぎ付けた役員の方々が疲れ様でした。

令和3年
在京花巻人
のつどい



《はなまき あれこれ》

令和2年度「イーハトーブ花巻応援寄付金」の活用について

市はふるさと納税制度を活用し、花巻を応援したいという全国の皆さんからの思いを「イーハトーブ花巻応援寄付金」という形で市のまちづくりを支えています。

令和2年度は、全国から約21万件、29億6,036万8千円の寄付金が寄せられました。この寄付金は、「仕事いっぱい、雇用いっぱい、活力に満ちたまちづくり」に33%、「自然豊かな地域でともに支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまちづくり」に26%、「郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまちづくり」に16%、「すべての市民が手と心をつなぐ、個性あふれるまちづくり」

に11%、「市の重点を置く施策」に14%と、五つの使い道で活用されました。

事業としては、合計で65の事業に活用されています。例えば、生活道路維持事業には、4億6,815万5千円が充当され、冬季の除雪費など市民の皆さんが生活道路を安心安全に利用できるような活用されました。又、第3子以降保育料負担軽減事業には、3,200万円が充当され、安心して子供を産み育てることが出来るような環境づくりを推進するため、第3子以降の保育料の全額又は一部を補助するために活用されました。

(広報はなまき8/15号より)

米国ラットランド市姉妹都市提携35周年記念

昭和60年(1985年)に当時の石鳥谷町長の関鋼次郎氏が訪米した際にバーモント州ラットランド市のベイリー市長と知り合い、信頼と友好の証として「ラットランド市の鍵」を贈られました。これがきっかけとなり昭和61年10月8日にラットランド市と石鳥谷町の姉妹都市提携が結ばれました。

ラットランド市は人口約15,000人、北部がカナダと接するバーモント州の南西部に位置しています。山や湖など自然に恵まれた町で観光業が盛んです。19世紀には大理石の名産地でしたので、市の別名は「Marble City」(大理石の市)とのことです。

昭和63年から始まった「青少年海外派遣研修事業」は現在も継続されており、両市の生徒達の交流が行われています。ただ、今年は姉妹提携35周年ですが、ラットランド市からの訪問団を迎えるのに記念式典などは、新型コロナの影響で延期となりました。



ラットランド市街地の様子

(広報はなまき9/1号より)

第31回宮澤賢治賞・イーハトーブ賞受賞者決定

第31回(令和3年度)宮澤賢治賞は、甲南女子大学教授の信時哲朗氏に贈られました。当賞は、宮澤賢治の名において顕彰するにふさわしい研究、評論、創作などに贈られますが、同教授は、『宮澤賢治「文語詩稿一百篇」評釈』を執筆、一遍ごとに博搜を尽くした調査と偏りのない見地による評釈が高く評価されました。

同イーハトーブ賞は、日本科学未来館名誉館長の毛利衛さんに贈られました。同氏は少年時代から宮澤賢治に触発されスペースシャトルに二度も搭乗し、

書籍「私の宮澤賢治」で宇宙観と地球観を統合した営為が高く評価され受賞しました。

イーハトーブ賞奨励賞には、東京や岩手を中心に、宮澤賢治の童話作品の公演を精力的に続けている「ものがたりグループ☆ポランの会」に贈られました。同グループは、「春と修羅」全詩の朗読をCD6枚にまとめるなどの活動が認められました。



毛利 衛さん

(広報はなまき9/1号より)

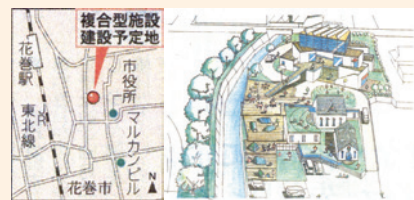
花巻市中心部に複合施設

花巻市の小友木材店(小友康広社長)と木村設計A・T(木村直樹社長)は、同市吹張町に住居を中心とした複合型施設を建設すると発表しました。木材を活用した箱型の住まいを核として、入浴施設や障害児の放課後等デイサービス、飲食店などを設ける計画。2023年までに完成を見込んでいます。

両社の計画では、施設は東西2棟をメインに構成、周囲の景観を生かして森をイメージしたデザインで統一すること。

東側の建物は、1階が一般利用可能なオープンキッチンや工房、デッキつき自宅や貸店舗など。2階は一般住宅やテラス付き店舗、3階は眺望の良い

入浴施設を設け市内の温泉の湯を使うとのこと。西側の建物は、障害児向け放課後等デイ



サービス施設、屋外で映画鑑賞が出来る丘、カフェ、テントサイト、アートギャラリー、演劇上映スペースなどが検討されています。

小友氏は「まちの中心に人を呼び、多様性と交流を楽しめる若い世代が住み続けたいエリアを目指す」と語っています。(2021年9月20日付岩手日報より)

JAIいわて花巻 子供食堂「ぬくまる食堂」に米450キロ等寄贈

JAIいわて花巻は昨年7月20日、花巻市にある子ども食堂「ぬくまる食堂」に米450キロのほかレトルト食品や菓子、飲料品、生活用品などを寄贈しました。

この活動は、国際協同組合デーの統一活動として実施されたもの。当組合は令和元年度から持続可能な開発目標（SDGs）の取組の一環とし、子供食堂やフードドライブの運営などを支援しています。（※フードドライブとは家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。）

同日には、花巻市内のホテルで贈呈式が行われ、同食堂を運営する花巻ロータリークラブの橋川秀治会長は、「たくさん寄贈していただきとても嬉しい。今後もフードパントリーを続けていきたい」と感謝しました。



（「ぼら一の花巻」8月号より）

花巻北高校創立90周年式典が行わる

去る令和3年10月23日、岩手県立花巻北高等学校が創立90周年を迎え、花巻市文化会館で多くの卒業生や在校生が参加し記念式典が執り行われました。

同校は、昭和6年（1931年）花巻町他17ヶ町村学校組合立花巻中学校として設置認可され、昭和13年には県に移管されて岩手県立花巻中学校となりました。その後学制改革により花巻第一高等学校となり、花巻高等学校を経て昭和28年に校名が改称され花巻北高等学校となりました。

式典では、川村俊彦校長から式辞、佐藤良介創立90周年記念事業協賛会会長が挨拶し、歴代校長や同窓会長、それに歴代のPTA/教育振興会会長に感謝状が贈呈されました。さらに上田東一花巻市長他から祝辞があり、生徒代表挨拶のあと校歌斉唱で閉式

となりました。式典後は、記念演奏（同高卒業生佐藤司美子氏のピアノ）と新渡戸基金理事長の藤井茂氏から「初代校長佐藤昌とその周辺」と題した講演がありました。



同校は10年後に100周年を迎えますが、90周年の標語「百年生きる君たちが花高百年の学びを創る」のもと、環境整備事業など100周年に向けて様々な記念事業に取り組んでいます。（編集部）

秋季高校野球大会花巻勢の活躍 ～花巻東校春の選抜甲子園確実～

昨年の秋季高校野球大会は、花巻東高校が岩手県大会で優勝しその勢いを駆って東北大会でも初優勝を飾り、11月の明治神宮記念大会と今年の春の選抜甲子園出場を確かなものにしました。岩手県大会での花巻勢の活躍も合わせて報告します。

秋季高校野球岩手大会は、8/21～31に花巻地区の予選が行われ、3勝の花巻東、花巻南、それに2勝1敗ながら敗者復活戦で代表となった花巻北の3校が代表となりました。

9/11～20に行われた岩手県大会では、まず、花巻北は1回戦大船渡に4-2、2回戦久慈に3-1で勝利、準々決勝で盛岡大附に12-5で敗れましたがベスト4目前でした。花巻南は1回戦福岡工に2-0、2回戦高田に4-1、準々決勝では千厩に6-5で勝利、準決勝に進みましたが久慈東に2-3で敗れました。東北大会出場を賭けた3位決定戦では盛岡大附に5-8で残念ながら敗れました。

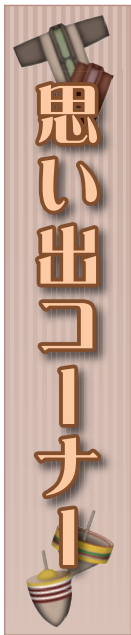
東北大会は、10/20～26に仙台・石巻各球場で開催されました。花巻東は2回戦から登場、東日本昌平（福島第2）を11-1、準々決勝は仙台育英に8-2、準決勝では八工大（青森第2）に4-3で勝ち春の選抜甲子園出場の権利を得ました。花巻

東の勢いは止まらず、決勝戦では強敵聖光学園（福島第1）を4-1で破り初優勝を飾りました。これにより11月に行われた明治神宮大会に東北代表として出場し、2勝し準決勝まで進みました。又、春の選抜出場が確実となりました。



打者 佐々木麟太郎君

花巻東の活躍で注目されたのが1年生ながら岩手大会で3試合連続本塁打を記録、東北大会でも初戦で通算47号、さらに明治神宮大会でも2本の本塁打を打ち合計49号となった佐々木麟太郎一塁手。同校の佐々木洋監督の長男で、身長187センチで体重117キロの大型スラッガーです。高校で通算111本を打った早稲田実の清宮選手を超えるのではないかと恐れられ新怪物と呼ばれているとのこと。春の甲子園での花巻東高校の活躍を是非ご期待下さい。（高校野球ニュース、スポーツナビ、岩手日報などから）



〈賢治さんの思い出しシリーズ 第二回〉

賢治詩碑



高橋 滋明

出身地はどこですか、と聞かれた時は「宮沢賢治さんが生まれ育った花巻です。」と答え、宮沢賢治さんについて誰、どの問いには「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」の賢治さん、と応えると大概は分かってもらえる。

はじめに

新型コロナウイルスの影響で行動が狭まり家にいる時間が長いこの機会に、と若い時に読んだ高村光太郎・宮沢賢治全集(昭和二十八年講談社発行 伊藤 整ほか四名編集)を読み、父から聞いていた宮沢賢治さんや高

村光太郎氏の話の思い出しています。

菊作りが趣味の父は賢治さんから園芸の指導を受けていて、いろいろ聴いていたことがあったのでペンを走らせてみたいと思います。

賢治さんと父と「凡友会

賢治さんは明治二十九年生まれ、私の父は明治三十九年生まれ、どういうわけか父は若い時から大輪菊(奥州菊)の三本仕立てを趣味にしている肥料作りから園芸のことを賢治さんに教えてもらっていたそうです。

賢治さんが体調を崩した時は何か栄養のあるものを作ってお見舞いに行ったものだね、と母と話していました。

また、父は日記を書いていたのですが、尊敬する賢治さんの影響を受け

ていたのでしょう。

「凡友会」とは、明治三十九年生まれの父の同級会の名称で、六十年に一回来る干支、「丙午」(ひのえつま) 生まれの会なのです。

上町商店街の方も多く、賢治詩碑を建立するときの力になったということでした。

特に、照井謹二郎先生は賢治さんの教え子であり賢治さんが亡くなるまでの親交は深いものだったそうです。

謹二郎先生の家からお花の注文を受け配達すると、お家の方も空気もふんわりしていて、帰り道に「あれは何なんだろう」と子供心に考えたのを憶えています。

賢治さんと照井真臣先生

賢治さんは尋常小学校五年生の時に謹二郎先生のお父さんの照井真臣乳(まみち) 先生に教えられ、謹二郎先生は稗貫農学校(現花巻農学校)で教鞭を執っていた賢治さんから教えられる、という素晴らしい関係が生まれました。

賢治さんが農学校の教諭をやめてからも先生と

教え子の関係は続き、謹二郎先生は賢治さんが亡くなつてからは「宮沢賢治の会」会長として活躍され、賢治詩碑の建立にも尽力されたそうです。

謹二郎先生は、戦前は小学校教育に情熱を注ぎ、戦後は幼稚園教育と賢治劇に打ち込んだ教育者で、岩手日報(昭和六十年一月四日)掲載記事)の中で「(賢治)先生は自然と人間の調和、人と人の触れ合いの大切さを教えてくれた。私は今でも先生の教えがすべての基本であると信じている」とお話ししています。

賢治詩碑と照井謹二郎先生

賢治さんが亡くなられたのは昭和八年九月二十一日、享年三十七歳でした。

賢治詩碑が建立されたのは昭和十一年十一月二十一日の月命日、賢治さんが亡くなられてから三年という速さでの建立。

「宮沢賢治碑建立趣意書」によると、詩碑建立の寄付は一元からということ、碑文は「農民藝術概論綱要」からの抜粋が

記されています。具体的には、序論から「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」、更に、「農民芸術の産者」、「農民芸術の総合」のそれぞれから一節を列挙しています。

碑の石は当初の計画より大きなものが石巻から入手でき、賢治さんご家族と相談したところ「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」がよいのでは、とのお話があり現在の碑文になったものだそうです。

詩碑建立に際しては、花巻共立病院(現花巻病院)の佐藤隆房院長先生、照井謹二郎先生が中心になり、父は事務局のお手伝い役で、「凡友会」の人達からも大変な助力を得た、と聴

記されています。具体的には、序論から「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」、更に、「農民芸術の産者」、「農民芸術の総合」のそれぞれから一節を列挙しています。

いています。

謹二郎先生の記録によると、「この雨ニモマケズの詩碑は、多くの詩碑とは類を異にし、基礎の中に賢治の遺骨、遺髪、御経が収められており、従つて、賢治祭にきまつて黙とうを捧げてから行事に入っている。」(宮沢賢治にちなんで)の賢治祭あれこれ(一)から抜粋)

高村光太郎先生と賢治さんの出会い
賢治さんは大正十五年十二月に高村光太郎さん



「雨ニモマケズ」碑除幕式当日、碑前に並ぶ実行委員の人々 ((図解)「拡がりゆく賢治宇宙」に掲載してある写真)

寄稿

二代目社長の「エーデルワイン物語」(第二回)

(株)エーデルワイン 取締役会長 藤館 昌弘

売る会社に・・・

エーデルワインに入り、まず感じたことは社員各人各様ばらばらで自分のテリトリーだけ守り責任を負わない集団だと私は感じた。私は「売る」ということをなぜ重要視しないかと聞いてみたら元サントリーのワイナリー長を経験されたエーデルワインの醸造の神様「畑中清見氏」は良いワインを造れば黙っていても売れると言ったとか?・・・それを良いことに営業担当は小売店を回ってはお茶を飲み1日が終わるといった塩梅で過ごしていた。

それでもエーデルワインは売れていた。世の中が様変わりし食事も肉が食事のメインになってきたのだった。

私はエーデルワインを「売る会社」にしたい思いで「岩手酒類卸商業協同組合」営業本部長の「千葉健氏」が定年退職と聞き会社に招聘することに成功した。さすが全県を網羅している組織の長だけあって、エーデルワインは大型店などには踏み込めないでいたが、彼はいつも簡単に大型店その他エーデルワインが苦手としていた所を簡単に攻略した。以後エーデルワインは安定度を高めていくのだった。

そして千葉氏を専務に取り立てたなら、彼はさっそく不良在庫を掃き経営についても全般を見直してくれて組織も少しは様になってきた。

以前は社員が業者に言われるまま勝手に物品を購入したり工事を発注したりし「安物買いの銭失い」的な事ばかり、世間知らずの勉強不足、田舎丸出しの会社であった。私は自己中心で我儘で傲慢な社員には辞めてもらったが、何しろ地元の人間の雇用

の場ということもあり我慢ガマンの日々でもあった。

ワインシャトーを売店に・・・工場を新築 農水省の補助金を導入して大迫町が建てた「ワインシャトー大迫」は農産物加工施設としてブドウジュース加工をベースに映像施設と小さな売店があった。

私は大迫町長そして花巻市に合併してから大石、上田両市長の協力でジュース工場を廃止しワインショップに変えた。時間がかかったが1億の売り上げを目指し頑張っている。このコロナがなければ達成は出来たと思っているが、残念ながらまた巻き戻しを余儀なくされている。



エーデルワイン工場と五月長根葡萄園

工場の新築 増改築は先代の村田社長のプランで私が社長になってから大石市長時代に新装に成った。今までより敷地面積が倍以上になり高く聳える工場は大迫町の中心市街地からも良く見え町のシンボルとして、また花巻市の奥座敷としての役割を果たしていると思う。昔私が役場職員だった頃、先代がこの周辺を整備し誘客を図りたいと言っていたことを時々思い出すがある。今日のエーデルワインを見たらどう思うであろうか天国の村田社長に聞いてみたい。

(つづく)

「第35回在京花巻人のつどい」ご参加への御礼とご報告

この度は、新型コロナが未だ収束しない中「第35回在京花巻人のつどい」にご参加頂き有り難うございました。お陰様でコロナ感染者も出ず、無事に終えることが出来ました。改めまして皆様のご協力に感謝申し上げます。

収支決算の報告

(単位：円)

Table with 3 columns: 収入 (Income), 支出 (Expenditure), 摘要 (Summary). Rows include membership fees, venue costs, and other expenses.

差引残高179,361円は一般会計に戻し入れました。

第27回歩こう会 再始動決定 2022年3月19日(土)

「下谷～三ノ輪～北千住まで、樋口一葉ゆかりの下町散歩」編

何度も延期になっておりました歩こう会開催のお知らせです。会報61号に地図を掲載しているので少しはご理解頂けるのですが今回のコースは「下谷～三ノ輪～北千住まで、樋口一葉ゆかりの下町散歩」編です。正味3時間程度の下町散歩となります。上京するときは必ず訪れる東京の玄関口、上野から北北東に広がるこのエリアは下町と言っても、近世の江戸、近代の幕開けの明治、昭和の時代まで様々な歴史の舞台に幾度となく登場した地域です。どうぞコロナウィルスの対応を万全にしてどうぞご参加ください。

会費納入のお願いと納入状況の報告

- 1. 令和3年度会費納入のお願い
在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。
会費をまだお振込頂いていない方は会報6月号郵送の際に同封の振込票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記の口座にお振込頂きますようお願い申し上げます。
在京花巻人會 会長 瀬川紘一
口座名義 在京花巻人會
口座記号番号 00240-6-11794
2. 令和3年度の会費納入のお礼と納入状況
3年度の会費納入は11月末現在226件、金額678,000円です。皆様に感謝とお礼を申し上げます。
会計担当 高橋良光 板垣雅子